

## 代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社  
代表取締役 井上明美

いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年の夏は、満喫されていますか？脱水を防ぐためにも、こまめに水分補給をすることが大事なのは、誰もが知っていることですが、これだけ暑いとつい冷たいものを食べ過ぎ、お腹が痛くなるという

方もいます。気をつけたいですね。

日本に古くから伝わる、お盆の慣わしがあります。迎え火の煙に乗って先祖がわが家に帰ってくると・・・迎え火を3回踏ぐと風邪をひかないと、よく両親に言われたものでした。

このいい伝えを信じている私は、このお盆時期には両親と再会するのが楽しみです。それでも両親への恋しさは募ります。そのたびに、仏壇にお線香を手向けている今日この頃です。

残暑厳しき折、皆様方どうかお身体を大切に下さって下さいませ。

## サンライズの物語

### 大切な方の、最期の時・・・

介護職として何ができるか

お産婆さんをされていた、あるご利用者様のお話です。

過去に、数えきれない程の新生児を取り上げた方・・・ご自身のお部屋には、取り上げた子供の成長したお写真が何枚も保管されており、その時の出来事を話して下さるのを、私は訪問するたびに楽しみにしていました。

しかし、月日の経過に伴い、その利用者様もだんだんと身体が弱ってきて、拘縮もかなり進んでいました。さぞ、お辛かったことでしょう。

そんなある日のこと、いつもは愉快にお話を下さるのに、その時ばかりは弱音を吐かれたのです。

「こんな姿になってしまって、私はこれ以上生きていたくない」と。

細って弱っていく自分の身を案じたのか、そうおっしゃってただただ泣かれたのです。

この光景を目の当たりにした私は悲しくなり、不覚にも涙が止まらなくなってしまいました。

そんな中、傍らでお聞きになっていた娘さんが、お母様に対しおっしゃった言葉が、今でも印象に残ってい

ます。

「お母さんは、生きていてだけでいいのよ」と。その通りだなと、痛感しました。

その言葉に勇気づけられたのか、娘さんの思いを知っていたのか、その後は弱音を言うことなく、またいつものように、楽しかったお産婆さんだった時の話をされておりました。

そしてついに、人生の終焉の時が訪れます。その方は、大好きな娘さんたちに見守られながら、ご自宅で幸せな最期を迎えられました。

私も、母を自宅で看取りました。両親とは、どんなことがあっても自分を味方してくれる、かけがえのない存在です。

自分にありったけの愛情を注いでくれた母。そんな母を介護していた時間は、かけがえのない時間であり、また幸福なひと時だったと・・・

そんな大切な時間を共有できる介護職という仕事、とても素晴らしい職業だと感じ、胸を張って頑張っています！！



幸せを呼ぶ

# おむつの話

[第二回]

暑い時期だからこそ、  
おむつをつける人の身になって！

排泄ケア相談処 諒 代表 田中 明子

毎日暑いですね。じっと座っていても汗が噴き出てきます。おもらしをしたわけでもないのに、なんだかパンツやズボンが湿っぽくなりますね。湿度の高い日本の夏、衣服の下は蒸れ蒸れです。

「蒸れ蒸れ」といえば、この時期にあてるオムツも・・・

介護者の皆さん、この暑い時期に、被介護者に対してパットや紙パンツ（テープ止め）をあてた時に、お尻がどういう状態になるか、是非想像してみてください。

おむつにより、お尻やそけい部（腿の付け根）が赤くなる場合があります。これを「おむつかぶれ」といいますが、この時期は非常に多くなります。

紙おむつをつけて一日過ごしたご経験、ありますか？私は体験で、1日おむつをつけて過ごしたことがあります。暑い時期でないのに、肌は汗ばんできます。相当つらい体験でした。

そういう体験をしたからこそ、おむつをつける方の気持ちを理解し、正しいおむつのあて方を知っておかなければならないと、強く考えるようになったのです。このことを語る上で、紙おむつの構造について触れないわけにはいきません。

紙おむつは、いろいろな素材で出来ています。肌に当たる「表面材」、尿を受ける「吸収材」、漏れを防ぐ「防水材」、いわゆるカタカナ素材ばかりです。また、

紙パンツやテープ止めおむつのほとんどは、通気性のあるものですが、パットは「通気性」と「非通気性」の2種類があります。

以前、こんな話を聞きました。通気性のないおむつをつけていると、おむつの中の湿度は70%になり、排尿後10分もすると湿度90%にもなって、そのままの状態が続くそうです。通気性のあるおむつでは70%以下まで戻るといいますが、それでもおむつの中は蒸れ蒸れです。

紙パンツやテープ止めおむつの中にパットを入れる場合、外側のおむつに通気性があっても、中のパットが非通気性であつたらどうなるでしょう。蒸れ蒸れは避けられません。やみくもに紙おむつとパットをあてれば良いという、そんな単純なものではなく、使い分けが大事なのです。

肌のトラブルがなく、こまめにおむつ交換できる時は、通気性のないパットでもよいでしょう。肌の弱い方や長時間換えることができない時は、通気性のあるパットを使いたいものです。

なお、パットの重ね使いは絶対しないで下さいね。蒸れを少なくするという点では、組み合わせも大切な要素です。具体的には、パットと伸縮性のある布製のパンツの組み合わせがお勧めです。

おむつかぶれを起こす原因は、蒸れだけではありません。清潔にしたいあまり、何度も石けんで洗ったりこすったりする方がいますが、これは逆効果です。石けんは1日1回くらい、あとはぬるま湯で流す程度に。優しく水気をとってからおむつを当てます。

また、おむつを当てる時、漏れないようにしようと、きつく引っ張り上げていませんか？引っ張ってはいけません。そけい部に沿わせて当てます。それでもかぶれてしまう時、使用しているおむつと相性が悪いのかもしれないかもしれません。メーカーを替える、布パッドに替える等、検討するのも一法です。どうか相手の身になって考え、少しでも快適に過ごすための工夫をしたいものです。

## 訪問介護事業所 管理者交代のお知らせ

訪問介護事業所管理者 吉田葉子さんが、このたび退職し、管理者が交代することになりました。ご本人が左足半月板を損傷され、介護の現場で仕事をすることができなくなったため、一旦退職されることになったのです。思い起こせば、平成22年の開設時に、登録ヘルパーもいない中で奔走されました。数々の困難な場面に遭遇する中、どれだけ助かったことが・・・また、ご利用者様やご家族様、サービス事業者様への細やかな対応も好評でした。今、サンライズが何とか存続できているのも彼女のおかげであり、吉田さんがいないことが想像できません。療養により左足が治癒された暁には、介護支援専門員として復帰されることを願っております。ポストを空けて待っていますよ！  
今まで本当にお世話になり、ありがとうございました。  
尚、後任には、富所 司郎（とみどころ しろう）が就任致します。  
引き続きのご愛顧、何卒よろしくお願い致します。



お読みいただきありがとうございました。

サンライズ・メイト・バートへのお問い合わせは TEL.03-5697-9895